



佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート



2020年
11月号

ますます充実してきた後学期授業



気付けば、2020年も残すところ、後1か月と少しになりました。後学期の授業も、あっという間に半分近く終わりました。今、それぞれのコースでは、専門性を追究した内容を学んでいます。面白くもあり、難しくもあり、各々の研究に悩みながらも学べる喜びを噛みしめています。



そこで、今回は、各コースの授業について具体的にご紹介します。

各コースの特色ある授業

○授業実践探究コース「授業実践の研究」(岡先生・米田先生・佐長先生・堤先生)



この授業では、授業実践をどのように分析し、解釈するのかを学びます。実際に佐賀大学教育学部附属小学校の4年生道徳科の授業を参観しました。今後は2グループに分かれて、12月の授業分析発表に向け、データの分析や解釈を行っていきます。この授業を通して、授業実践の質的研究をどのように行うのかを身に付け、来年度の実践研究の手がかりとしたいです。(ストマス)

○子ども支援探究コース「個が生きる集団づくりのための生徒指導」(中尾先生)

この授業では、生徒指導の目的とその機能を理解し、教育課程内外で子どもの自己指導能力と社会性をどのように育むかをテーマに、オンラインと対面形式を交互に隔週で授業を受けています。今後は、個が生きる集団づくりの実現を目指して、生徒指導の機能の活用法、自己指導能力の育成法について、一つ一つ丁寧に検討していきたいです。(ストマス)



○教育経営探究コース「学級・学校危機管理論」(松尾先生)



「学級・学校危機管理論」では、学級・学校運営において起こる危機的事案についての適切な対処法について法的根拠も含めて学んでいます。学校での危険な事故や事件が年々増えていますが、児童生徒の命、教職員の命を守ることは学校の責務です。学級・学校経営上注意すべき危機管理対策(事前・発生時・事後)について具体的な事例研究を中心に学び、安全・安心で快適な質の高い教育環境を整備する能力を身に付けることが目標です。(現職)